

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

小児市中発症大腸菌菌血症の臨床的特徴

2. 研究の対象患者

旭中央病院を受診した患者さんで、下記の選択基準を全て満たし、除外基準のいずれにも該当しない方

- ・ 選択基準
 - 1) 年齢が日齢7以上15歳以下
 - 2) 外来受診または入院時の血液培養で大腸菌が発育
 - 3) 性別不問
 - 4) 入院・外来共に含む
- ・ 除外基準
 - 1) 血液培養の結果がコンタミネーション(偽陽性)と判断した患者さん
 - 2) その他、研究責任(分担)者が対象者として不適当と判断した患者さん

3. 研究の対象期間

1988年10月1日～2018年9月30日

4. 研究の概要

大腸菌は小児の市中発症菌血症の起因菌としては比較的稀である。しかし、肺炎球菌およびインフルエンザ菌に対するワクチン定期接種化に伴い、これら2菌種による小児市中発症菌血症は減少傾向にあり、大腸菌の重要性は相対的に上昇している。また、近年、治療に難渋する大腸菌感染症を合併する重症心身障害児や染色体異常など重篤な基礎疾患を持つ患児を診療する機会も増加している。

そこで本研究は、小児市中発症大腸菌菌血症の特徴とその変遷を知る目的で、当院で過去30年間に診療した小児の市中発症大腸菌菌血症の経過について診療録をもとに後向きに解析し、その特徴を調査する。

5. 研究実施予定期間

2018年9月19日～2019年3月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

〔研究対象者背景〕：生年月日、年齢、性別、既往歴、転帰、最終観察日・観察項目、入退院日、診断名

〔血液学的検査〕：WBC、New(%)、Lym(%)

〔血液生化学検査〕：CRP、BUN、Cre

〔尿検査〕：尿蛋白、尿潜血、尿中亜硝酸塩、尿中白血球反応

〔微生物学的検査〕：血液培養、尿培養、髄液培養、薬剤感受性検査

〔画像検査〕：腹部超音波検査、排尿時膀胱尿道造影検査

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

- ・ 研究責任者：小児科 衣斐 恭介
- ・ 臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)